



／ 今日もおつかれさまです ／

BMウーマンの休憩室

人手不足の今、ビルメンテナンス企業の女性社員は、どうしたら長く働き続けてくれるのでしょうか。前号に続き、ローモデルとして注目したい、株式会社ケイミックスの社内組織“なでしこ会議”の活動を紹介します。



vol.
9

居心地の良い企業は女性の発信力が高い？

**社内が明るくなる
環境づくりとは**

発信力が人や物を動かす今の時代。女性社員の発想で、職場改善の成功事例を増やしているビルメンテナンス企業が、株式会社ケイミックスだ。5年前に同社の女性社員が立ち上げた社内組織“なでしこ会議”は、もともと風通しの良かった社風をさらに明るく、元気にしている。まさに女性活躍の出発点のような実例だが、どのようにして、女性社員の参画意識を高めているのだろうか。

**若手の発想が
プラスの刺激に**

27名のメンバーは、全員が本業のかたわら自主的に活動を行っているため、「挑戦したいことしかやりません」ときっぱり。それは「一度決めたことは最後までやり遂げるため」という皆さん。社内の信頼を得るには、まず粘り強く活動を継続させることが大事と話す。取り組むテーマは、年4回程度の定例会議で決めている。「必ず1回は発言する」「人の意見を否定しない」などのルールを設けることで、周囲に遠慮なく発言できて

“なでしこ会議”のスローガン

1. 本社と現場のファシリテーター（架け橋、つなぎ役）になろう！
2. なでしこ会議の継続と進化で、更なる貢献を！
3. ケイミックスのFLAGSHIPとして、飛び出せ社外へ！

この3つのスローガンをテーマにアイデアを出し合い、活動している。



2016年には、ユニフォームファッションショーなども企画

同社のグループフォーラムでは、歴代のユニフォームを披露するイベントなどを企画。社員だけでなく、ベトナムからの技能実習生にもモデルになってもらい、会場内を大いに盛り上げた。

いるという。案を決めたら、チームごとに動き出すのみ。自ら得意なことに名乗り出たり、社内プレゼンを行ったり、ポトムアップ企画で動いているからこそ、全員が積極的にこの活動を楽しんでいる。話を聞いてもらえる場があることで、社員同士の協力体制もより強固に。「固定概念にとらわれない若手の発想があるおかげで、ベテラン層が諦めそうになっていたことでも、何とか実行できています。若いうちは発想力が過小評価されがちですが、むしろ若手の意見は刺激が多く、活用しない手はないと考えるようになりました」とビル事業本部の若菜良子さん。

「自分たちの役目は、会社に明るい要素をプラスすることだと実感するようになりました」と話す皆さん。やり遂げる力が社内で評価されている今、「なでしこ会議」に案件依頼が来るようになりました。目下の取り組みは、企業の顔となる本社受付周りの改善です。全員で知恵を出し合い、我が社らしい環境整備を提案したいと思います」（経営企画部の佐藤裕佳子さん）。

発言できる場があれば、能力が引き出せることを教えてくれた“なでしこ会議”の皆さん。人手不足倒産もあり得る今、女性の活躍を願う経営者の方は、気軽に話せる場を作ることから始めてみてはいかがでしょうか。

